

### 第3回佐伯図書館未来構想協議会・結果報告書

開催日時：令和5年9月26日 午後2時～

開催場所：市役所本庁舎6階第2委員会室

委員：出席・桑門 超 田中 淳子 檜垣 伸晶 張 凱助  
御手洗 慎太郎 山本 智子 水本 陽子  
河野 美紀

欠席・金 成妍 長野 雅樹

講師：株式会社飫肥社中 協働代表 崎田恭平  
都城市立図書館 館長 井上康志※オンライン  
ナカバヤシ株式会社 関哲哉・石水啓介

事務局等：久々宮克也教育部長

社会教育課

丸山純一課長 戸高直人総括主幹 吉岡千鶴主幹

政策企画課

末永健二課長 出納副主幹 山本副主幹

内容：図書館と地域づくり・地域課題への対応（研修）、全国の図書館の紹介、アンケート調査結果等について

①研修：図書館の地域づくり・地域課題などへの対応とその手法について（株飫肥社中 崎田氏及び都城市立図書館井上館長による講話）

②紹介：全国の図書館について  
ナカバヤシ株式会社 関氏による紹介

③中学生・高校生アンケート結果について

研修：○現在の図書館は「滞在型」か「従来型」の二極化が進んでいる。市民も二極化しており、すべてを対応していくのは難しい。

○佐伯市独自の方向性（テーマ・コンセプト）を決めること、佐伯らしさを出すこと。

○図書館においてDX化については、手続きの簡略化などを進めるのはいいが、すべてDX化は慎重にするべき、適正な導入が必要

○利用者の利便性や図書館に新たな付加価値をつけるため、インターネット環境（wi-fi等）の充実は今や必須。

○学校図書館の開放などもおもしろい。図書館と学校図書のコラボはおもしろい。

○ある島では、至る所に本棚があり、読書を楽しむ環境がある。いろんな場所に小さい（ミニ）図書館があるのも良い。

○SNSの活用は、外部から内部の活性化を図れる重要なアイテム

○図書館は「知」の拠点、どのような立場の人も学べる人材育成の拠点。人材育成とは「問をたてられる力」を養うこと。

紹介：○全国の珍しい取り組みをしている図書館の多くは、本館を有した「別館的な図書館が多く、図書館の特徴を前面に押し出している。図書館も今後は明確なコンセプトが必要。

○現在の図書館は複合施設が多い。

○複合施設は交流を生み、シビックプライド（※1）の醸成を図ることが期待できる。そこを拠点に情報発信ができるとより大きな付加価値が期待できる。

※1 シビックプライドとは、「地域への誇りと愛着」を表す言葉。自分自身が地域の構成員であると自覚し、さらにまちを良い場所にしていこうとする「意志」が含まれる。